

講義コード	11C0383901	授業形態	講義	事前登録の有無	あり	担当教員	宮川 幸三	開講期	通年
科目名	計量経済学								
履修前提条件					備考				
授業の目的	この授業では、経済の実証分析を行うために必要な知識の習得を目的として、計量経済学の基礎的な内容について講義します。計量経済学の様々な手法について、理論的な観点から理解を深めるとともに、Excelを用いたパソコン演習を行うことによって、より実践的な分析能力を養うことを目標とします。								
到達目標	正しい方法で回帰分析を行うことができる。								
授業外学修内容・授業外学修時間数	この科目では、120時間以上の授業外学修を行うこと。予習・復習を欠かさず行なうこと。								
授業計画	【第1回】 イントロダクション 【第2回】 計量経済学とは 【第3回】 経済データの扱い方 (1) 【第4回】 経済データの扱い方 (2) 【第5回】 経済データの扱い方 (3) 【第6回】 経済データの扱い方 (4) 【第7回】 記述統計の基礎 (1) 【第8回】 記述統計の基礎 (2) 【第9回】 記述統計の基礎 (3) 【第10回】 記述統計の基礎 (4) 【第11回】 単回帰モデル (1) 【第12回】 単回帰モデル (2) 【第13回】 単回帰モデル (3) 【第14回】 単回帰モデル (4) 【第15回】 総括		【第16回】 イントロダクション 【第17回】 重回帰モデル (1) 【第18回】 重回帰モデル (2) 【第19回】 重回帰モデル (3) 【第20回】 重回帰モデル (4) 【第21回】 重回帰モデル (5) 【第22回】 回帰モデルの仮説検定 (1) 【第23回】 回帰モデルの仮説検定 (2) 【第24回】 回帰モデルの仮説検定 (3) 【第25回】 回帰モデルの仮説検定 (4) 【第26回】 ダミー変数 (1) 【第27回】 ダミー変数 (2) 【第28回】 ダミー変数 (3) 【第29回】 最小2乗推定量の性質 【第30回】 総括						
成績評価の方法	授業への取り組み姿勢、授業中に行う課題、期末レポートによって評価します。								
フィードバックの内容	授業中に課題の解説を行います。								
教科書	『44の例題で学ぶ計量経済学』唐渡広志 (オーム社) 2013年								
指定図書									
参考書									
教員からのお知らせ	2年生までに学んだ統計学、経済学および Excel の操作に関する基礎的な知識を前提として授業を行います。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受付けます。								
その他									